

小学校五年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第五学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、話すこと・聞くことにチャレンジしましょう。まず、表紙の杉田さんのインタビューメモをよく読みましょう。（しばらく間をとる。）

今から一回だけ、音声による問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

杉田さんは、総合的な学習の時間に、「子どもの健康」について、保健室の小林先生にインタビューをして、分かったことを、新聞に書くことにしました。そこでまず、杉田さんは、資料を集め、インタビューメモを作成しました。そのメモと、杉田さんのインタビューの様子を比べながら聞きましょう。

杉田　こんにちは。今日は、「子どもの健康」についてインタビューに来ました。よろしくお願いします。

先生　こんにちは。よろしくお願いします。

杉田　私が調べた資料によると「朝から体調が悪い子どもが増えている。」とありましたが、なぜでしょうか。

先生　いろいろな理由があると思いますが、一つ目は、朝食をとってこなかったり、好き嫌いをしたりして、きちんと食事がとれていないこと、二つ目は、テレビやゲームに多くの時間をかけて、睡眠時間が少なくなるなど生活習慣が乱れていることが原因として考えられると思います。全国的にこんな子どもたちが、増えてきているんですよ。

杉田　そういえば、私も朝食をとってこなかったり、夜遅くまで起きていたりしたことがあります。そんな日は、体がだるく、集中力がありませんでした。
・・・ということは、私たちの学校でも、朝から体調が悪い人が増えてきているのですか。

先生　はい、残念ながら、朝から体調が悪いという人は、この学校でも増えてきています。朝ごはんを食べずに登校し、元気がなく、気分が悪いと訴える人もいます。また、睡眠不足で、保健室のベッドに横になったとたんにぐすりねむってしまう人もいますよ。

杉田　私たちの学校でも、やはり同じようなことが見られるのですね。
では、次の質問です。「最近、顔や頭にけがをしたり、手や足を骨折したりする子どもが増えてきている。」ということも資料にありましたが、なぜでしょうか。

先生　子どもたちがあまり外で遊ばなくなってきたことが、原因の一つにあげられると思います。

杉田　どうして外で遊ばなくなると、顔や頭にけがをしたり、手や足を骨折したりすることが多くなるのですか。

先生　はい、いろいろな運動を経験することが減り、「走る」「跳ぶ」「投げる」といった基本的な動作がしっかり身に付いていないから、とも言われています。今の三、四年生が身に付けている基本的な動作は二十年前の五歳ぐらいの子どもと同じだそうです。だから、転んだ時にも手をつかず、頭から転んだけがをしたり、手や足を骨折したりする子どもが多くなったのではないのでしょうか。

まだインタビューは続きますが、放送はこれで終わります。
それでは、問題用紙を開いて始めてください。